

おおさき 市民活動だより

大崎市民活動サポートセンター
〒989-6162 大崎古川駅前大通 1-5-18
TEL 0229-22-2915 FAX 0229-22-9955
E-mail: npo@bz01.plala.or.jp

高校生夏休みボランティア 特集号

2009年から始めた高校生夏休みボランティアも、今回で12回目を迎えました。

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う措置後の夏休み期間への不安もあり、中止の方向でございましたが、高校側からの開催を望む声が届き、受入団体・参加人数を制限し感染防止に努めながらの開催となりました。

新型コロナの影響により人数を制限させていただいた為、3年生以外の参加希望の生徒さん全員に応えられず残念な点もありましたが、ボランティア意欲のある生徒さんがその気持ちを大切にして、今後の機会に是非生かしていただければと期待しております。

今年が最後となる3年生の生徒さんにとっては、思い出に残る夏休みになったのではないのでしょうか。

大崎市が進める市民公益活動活性化社会を支える「ボランティア活動」。高校生夏休みボランティアの活動の様子を広くお伝え出来た事に関して、関係各位のご協力に感謝すると共に、参加された生徒の皆さんが、今回の体験を生かし継続して、今後もご活躍される事を心より願っております。



【NPO 法人みんなの教室】



【NPO 法人エコバル化女沼】



【NPO 法人ハッピーート大崎】▶

◀【NPO 法人おおさき
エフエム放送】



「高校生夏休みボランティア」の大切さ

宮城県古川高等学校長 澁谷 貴彦

新型コロナウイルスの流行により、あらゆる活動に様々な制限が課される中、地域の高校生にボランティア活動の機会を与えていただき、心より感謝しております。本校生について言えば、今回の活動には本校から3年生のみ12名の参加となりましたが、実際には1・2年生にも多数の希望者がありました。約3か月にわたる学校の臨時休業、国の緊急事態宣言などの今までにない状況を経験した中で、何か世の中の役に立ちたいという思いを持つ生徒たちが増えていることを実感しています。

高校生にとって、家庭や学校を離れてのボランティア活動は、日常と異なる人間関係、取り組み内容等を通して大きな気づきが生まれ、それが日々の意識や行動を変えてくれるきっかけにもなる大切なものであると捉えています。この「高校生夏休みボランティア」がさらに歴史を積み重ね、高校生たちが地域に改めて目を向ける大事な機会として、大きな役割を果たし続けていくことを願っております。

ボランティア体験

古川工業高等学校2年 伊藤 咲枝花

ザリガニの捕獲とセイタカアワダチソウの抜き方を3日間やってみて、とても貴重な時間だったと思いました。

初めは、ただ進学する時に必要になるかもしれないからと思った理由だけでしたが、今回のボランティアをしてみて、生き物を少しでも長く生かすため、絶滅させないようにとする様々な工夫をしてくれているのだと感じました。3日間のボランティアで、命を一つ奪うことは他の生き物を生かすことに必要なことなのだと思われとても勉強になりました。

このことは絶対に忘れないように心に刻もうと思いました。今回のボランティアで多くのことを学ぶことができ、参加して良かったと思います。

「高校生ボランティアを受け入れて」指導所見より抜粋

NPO 法人みんなの教室 理事長 青木 彰

楽しんで作業できていました。積極的な仕事ぶりです。てきぱきとした活動ぶり、声も大きく、手もよく動き、興味・関心も多方面にあるので、これから力を発揮して欲しいです。じゃがいもの収穫や調理などの体験を生かし、今後も活動できると思います。

NPO 法人エコバル化女沼 副理事長 高橋 和吉

アメリカザリガニの駆除活動やセイタカアワダチソウを抜く作業を通しながら、化女沼の自然の豊かさやすばらしさを感じ取ってくれたこと大変良かったなと思っています。

また、そのすばらしい自然の中には様々な課題があり、その課題のひとつである駆除活動を体感してもらったわけですが、セイタカアワダチソウの抜き方にもコツがあることに気付いたことすばらしいことだと思います。

NPO 法人おおさきエフエム放送 担当 栗田 恵志

この度は、夏休みボランティアでおおさきエフエム放送を選んでいただきありがとうございました。

皆さんが同じ高校の同学年ということもあり、企画の段階から楽しさが伝わり、その姿はとてまぶしく、良い番組を作ろうとしている姿勢をうらやましくも感じていました。

30分という「長いようで短い時間」ではありましたが、何かを見させていただけたなら幸いに存じます。

進学とお聴きしましたが、これからの長い人生で自分の考えや思いを直接声にし、相手に伝えていってください。

また、「誰かを思いやり」「誰かのためになる」人生を歩んでいけることに期待し、応援しています。

NPO 法人ハッピーート大崎 副理事長 菅原 周子

高校生ボランティアの皆さんには受付を担当していただきました。受付で資料配付（次第、講師資料、感想用紙）と参加者の着席への案内をしました。高齢の参加者が多かったので、やさしい声かけがとても良かったと思います。参加した高校生ボランティアさんが、今回家族介護交流会でボランティアする事を母に話したら、「私が介護している時にこの様な勉強する場があれば良かった」と言われたそうです。会に参加して、介護する方とされる方の両方について考える機会になっていただいて良かったです。はじめてのボランティア活動でしたが、とても良く活動していただきました。

高校生夏休みボランティア実施要領

- ①参加申込
- ②活動先決定
- ③事前学習会 (必須)
- ④ボランティア保険加入の上
ボランティア活動
- ⑤活動日誌の報告
- ⑥活動証明修了証書

【事前学習会の様子】



活動の様子とボランティア体験記 (抜粋)

■NPO 法人みんなの教室

◇じゃがいもの収穫等〔参加校：古川高校・古川工業高校〕



- ・農作物を収穫したり、それを調理したりする経験もありなく、上手くいかなかったが協力して楽しく作業することができた。この活動で自分で収穫し調理する楽しさと達成感を得られた。(3年・H)
- ・今回のボランティア活動を通して、発達障害を持つ人への接し方を学びました。残念ながら実際に接するということは叶いませんでしたが、そのため、また機会があればこのボランティアに参加したいと思いました。(3年・F)
- ・じゃがいもの良い悪いの見方を教わりました。また、ポトフ作りでは、自分たちで採ったばかりのじゃがいもを使って作りました。とても美味しく仕上げることができました。(2年・T)
- ・ボランティアを通じて改めて自然の恵みのありがたさを実感することができました。青木さんからたくさんのお話を聞いていた中で、私たちと発達障害の子どもたちの間には決して大きな壁はないということです。なんの変わりもなく差別しない世の中になって欲しいと願っています。(2年・Y)

■NPO 法人おおさきエフエム放送

◇放送全般〔参加校：古川高校〕



- ・話が自然につながるようになり、声のトーン・時間配分など意識することが多く普段何気なく聴いているラジオをつくるのがこんなに大変なんだと驚きの連続だった。(3年・K)
- ・ラジオがどこで、どのように構成されて流れているのかを知ることができました。貴重な体験ができてとても楽しかったです。(3年・Y)
- ・初めは、自分たちだけで 30 分なんて話せないと思っていたが、話してみると 30 分はあっという間だったなと感じたが、改めて放送の大変さが分かった。(3年・Y)
- ・放送をするボランティアの経験がなく、前日から緊張していましたが、仲間の皆と共に協力して楽しくできた。内容・構成など自ら決め作りあげることができた。(3年・I)
- ・自分たちだけで番組を考えて放送するという経験は、なかなか体験することはないので、貴重な経験になった。聴いてくれる人への楽しさが届いて欲しいと思う。(3年・E)
- ・率先して物事を進めるように、人がこれから先求められると思うので、今回のボランティアを通じて自分を見つめ直していきたいと思っています。(3年・T)
- ・念入りにリハーサルをさせて頂きましたが、本当にラジオは話すだけではないんだなあと思いました。おおさきエフエムの皆さんがとても優しく有難かったです。(3年・S)
- ・顔の見えない、対面の時と違った難しさを実感した。改めて伝えるということについて考える機会となり、将来にも生きることだと感じた。(3年・K)
- ・内容を考えたり時間配分を考えたりするのがとても難しかったです。ボランティアに参加し、沢山のことを学ぶことができ、有意義な時間を過ごすことができました。(3年・T)

【参加高校3校・27名】

- 古川高等学校
- 古川工業高等学校
- 岩出山高等学校

【ボランティア受入団体 4団体】

- NPO 法人みんなの教室
- NPO 法人エコバル化女沼
- NPO 法人おおさきエフエム放送
- NPO 法人ハッピーート大崎

【ボランティア活動期間：8/2～8/7】

■NPO 法人エコバル化女沼

◇アメリカザリガニ駆除と計測、記録、セイタカアワダチソウの抜き取り等〔参加校：古川工業高校〕



- ・自然の生き物や植物を実際に触れてみて、普段体験できないことが沢山あったりしてとても楽しく感じました。また、化女沼の自然の豊かさを知ることができて良かったです。(3年・I)
- ・自分は中学の頃から化女沼に係る機会が多かったのですが、改めて今回、化女沼の自然豊かな部分に触れることができて良かったです。(3年・E)
- ・ザリガニの詳しい生態や、化女沼に植えられている植物など、私が今までわからなかったことを多く学ぶことができました。(3年・O)
- ・セイタカアワダチソウを抜いた時は、疲れましたが気合で何とかできました。似ているのがあって見分けるのは大変でしたが、この経験を生かして環境を大切に積極的にボランティアに参加していきたいです。(3年・K)
- ・アメリカザリガニを初めて捕獲しました。また、生命力には驚きました。今回、化女沼の自然の豊かさを知り生物への関心も高まりました。(3年・F)
- ・ボランティア全体を通して、どれくらい自然が外来生物に浸食されているかなどを知ることができました。その他にも沢山学べて良い体験でした。(3年・M)
- ・アナゴ籠を実際に見たり使用するのは初めてだったので、少々興奮しました。捕獲ではアメリカザリガニが予想以上に入って駆除する大変さを実感しました。(2年・I)
- ・生物と関わったのは小学生以来ですが、生物 1 匹 1 匹が複雑に関係し成り立っているということを再確認しました。日頃から自然を保護する活動をしている方を尊敬します。(2年・G)
- ・初めてボランティア活動に参加し、とてもやりがいを感じました。アメリカザリガニを多く捕まえたことにより、雄と雌の区別がつかようになりました。化女沼の自然が発展して欲しいと思いました。(2年・S)
- ・2 日間ボランティアを行い、生き物の怖さと同時に残酷さを知りました。外来種を駆除するのは他の生き物の為になりますが、それでも処分するのはきつかったです。そこには、命が関わっていることを感じました。(2年・H)

■NPO 法人ハッピーート大崎

◇大崎市家族介護者交流会

- ・講話並びに交流会&専門職による個別相談

〔参加校：古川高校・岩出山高校〕

*受付のボランティアをする様子



- ・介護をされる人の健康もですが、介護をする人の健康や、もしものことを考えなければいけないと、今日の講話を通して改めて感じました。大学進学した際に、学んだことを生かして勉強に取り組んでいきたいです。(3年・N)
- ・介護は家族や自分、誰にでも必要になることだからこのように相談できる場が必要だと思った。今回ボランティアは初めてだったが、今後も機会があれば参加し誰かの役に立てれば良いと思う。(3年・I)
- ・介護する側もされる側も、とても大変なことだしストレスや悩みが多いことが分かりました。悩み等相談できる場所が増えると良いと思います。今後は進路にも関係があるので勉強して、活動に参加できればと思います。(3年・I)